

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」磐田校	公表日	2025年 2月 15日
------	-------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	・配置数は適切ではない（基準は満たしているが、その人数では機能していない） ・1人指導員が足りていません。	・支援数の調整を図っていくとともに、今後を踏まえて指導員数の充足を掛け合う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・バリアフリー化はしていないが、今のところ問題はない。 ・段差等はあるが、ゴムの段差解消スロープを使用している。入口からはフラットで、支援に支障なし。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・使っていないすや机が部屋を狭くしています。 ・毎朝清掃を行っている。	・事業所内の整理整頓には空き時間を作って対応していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・評価表をHPに上げている。	・評価表の作成のみの留まらないよう共通意識を持っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		・外部評価の予定は現在ない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・オンラインで法廷研修が行われている。	・研修に関して漏れが無いように、案内から回覧をしている。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・毎月1週間集団で遊ぶプログラムを実施している。 ・月に1回小集団活動を行っている	・小集団活動は継続して行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・毎日朝礼を行っている。	・朝礼は必ず設けて、毎日その日出勤している職員が顔を合わせて話ができるようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・次の日の朝礼により振り返りを行っている。 ・朝礼で行っている。	・上記同様
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・保護者から希望があれば行っている。	・保護者や関係機関からの要望に応じて行っていることが多いが、こちらからの提案も行ってそれは継続していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	・希望があれば行っている。	・上記同様
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-	-		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0	・事例検討会が行われている。	・隔月で講師を招いた社内の事例検討会と年に数回の事例検討会の2種行っている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		・定期的に系列の保育園に交流する機会が設けられている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	支援後に申し送りを行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		・毎回の支援の申し送り、定期的実施するきらりカフェ(保護者会)がそれにあたる。必要な保護者にはカフェの参加を促したい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・きょうだい同士の交流はやっていない。 ・きらりカフェを開催している。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		現在、地域住民を積極的に招待するといった活動はしていない。今後の要望に応じて検討したい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・現在必要なし。 ・給食やおやつを提供していないため。 ・食事やおやつを提供なし。	・飲食物の提供は現在考えていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	身体拘束が必要な利用児がいないため	・重要事項説明書にて契約時に説明はしている。必要と感じる児の保護者には申し送りで伝えている。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」磐田校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	有資格者や経験値の高い職員が多く、様々な利用時への対応がスムーズ。	担当制にしないで一人の児童に対してなるべく多くの職員が当たるようにしている。	資格や経験値にとらわれず、みんなで意見を出し合っ てより良い支援を提供する。
2	状況に応じて支援室が広く使え、小集団活動にも適した空間設計ができる。	状況に応じて机などをどかして空間を広く使うようにしている。	不必要なもの、普段なかなか使われないものを整理してより空間を広く使えるように努める。
3	アナログゲームの数が多く、利用時の状況に応じた支援の幅が広がっている。	お楽しみのゲームとしてだけでなく、支援としてもアナログゲームを取り入れて楽しく活動できるようにしている。	支援として活用できるようなアナログゲームを積極的に活用していく。そのための情報収集をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援以外の業務になかなか手が回らない時がある。	職員一人一人に対する仕事量がキャパシティを超えていると感じる時期がある。	効率の良い仕事ができるように作業分担をしたり優先順位をしっかりと立てた仕事ができるように喚起していく。
2	ある程度広い敷地であると思われるが、生かし切れていないところもある。	余計なものが多く、整理がし切れていない。	できるときに整理していくようにする。個人ではなく、事業所全体で動く時間を設けていく。
3	経験値が多い職員が多い反面、支援内容に凝り固まったところがあるのではないかと、刺激が少ないのではないかと感じる。	他事業所との交流がなく、同じきらり内での交流が減ってきている。	機会があれば積極的に参加できるよう時間を作っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」磐田校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 11

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	3	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	3	1	1	・入り口が靴をどこまで履いていいかわからない。	・玄関マットを引いて対応していますが、周知を進めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	3	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	1	2	・小集団活動は、子供のレベルにあった支援が受けられない日があります。	・お子様の様子を見つつ全体でできる内容を考えており、必要に応じて補助をしています。行き届かない点があったことは申し訳ありません。ご家庭で感じられたことやお子様の感想など教えていただければ都度対応していこうと思います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1	0	1	・支援プログラムを公表していないと思います。知らないです。	・ホームページ上では現在は公表していません。来年度からは公表していきます。その日のプログラムは支援後の申し送りでお伝えするようにしています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1	1	2		・面談を実施し、相談支援事業所とも連携のうえで個別支援計画の作成に当たっています。互いにより深い理解が得られるよう努めてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	2	1	0	・そのような決まりで制定されることを、知りませんでした。	・支援計画更新の際に説明するようにしていきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	2	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1	1	0	・いつも迷路とパズルをしていて、固定化されているように感じます	・利用時のその時の様子を確認しつつプログラムを組んでいますが、視野を広げた支援内容を考えていきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1	2	1		・必要に応じて個別で見学に行ったり意見交換をしたりしています。
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1	1	0		・必要な情報を端的に伝えていくよう努めます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1	1	0	・前任の児発管の方は、忘れていたようで、計画書にサインをする際に半年前の日付を書くように指示され、サインしました。その時あまり詳しい説明はありませんでした。	・今後そのようなことが無いように説明をしっかりとしていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	0	0	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10	2	1	0		支援ごとに申し送りを実施しています。支援内容だけでなく普段の困りことも共有できるよう努めていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	0	3	0		・毎回の申し送りやきらりカフェでの情報提供を大切にしています。支援見学もできますので直接お子様を見ながらの助言もできます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	1	1		・毎回の申し送りやお電話、LINE等で相談事があれば随時お話をしています。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3	0	0		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	1	0		・毎回の申し送りやお電話、LINE等で相談事があれば随時お話をしています。きらりカフェも定期的に実施し情報提供を行っております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	1	0		・毎回の申し送りやお電話、LINE等で相談事があれば随時お話をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	1	2		・平時の連絡は主に電話やLINEを活用しています。ホームページ上での情報公開もしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	1	3		怪我等があれば状況に応じて即連絡対応しています。小さなものであれば申し送りで伝えています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	0	0	0	・すごく楽しんで通っています	ありがとうございます。今後も楽しんで通っていただけるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	1	0	・子供は楽しく通っていますが、楽しいだけで成長に繋がっているのか少し心配です。支援プログラムを改めて聞きたいです。	・支援後の申し送りで内容と結果だけではなく、狙いを含めて伝えていくようにしていきます。